

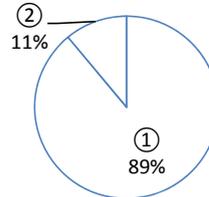
地域再生基盤強化交付金に関する調査結果（概要）

■調査期間：平成23年6月9日（木）～24日（金）

■調査対象：平成22年度に地域再生基盤強化交付金による事業が完了した地方公共団体

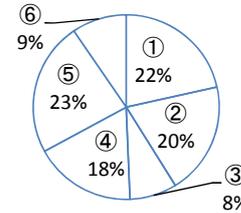
【問2】 複数の施設（市町村道と農道、公共下水道と合併処理浄化槽等）を総合的に整備することにより、メリットはありましたか。あてはまる番号を記入してください。

- ①あった 113
- ②なかった 14



【問3】 メリットがあった場合、どのようなメリットでしたか。あてはまる番号をすべてお答えください。

- ①事業実施の効率化が図られた。 34
- ②予算配分の調整により効果発現の相乗効果が図られた。 31
- ③地域の自主性・裁量性が拡大した。 13
- ④事業や年度を超えた弾力的な執行を行い、予算を有効活用できた。 28
- ⑤事務の効率化が図られた。 37
- ⑥その他 15



【問4】 問3の具体的な事例を、問3の例を参考にご記入ください

主な記述内容	分類
交付金を活用した広域農道のルートの一部について、市道整備区間との重複を排除し、約2,500百万円のコスト縮減を図った。	事業実施の効率化 ①
港湾・漁港が連携することにより、施設配置の適正化が図られた。	
交付金を使って予算を集中投下したことで、町道、林道ともに完成時期が前倒しされた。	予算配分の調整 ②
予算を集中投下したことで、事業主体が異なる連続した道路を計画どおり完成できた。	
当初予定していた路線を見直し、事業費の一部を新たな計画路線に投入できた。	
汚水処理構想の見直しによって、公共下水道（集合処理）から合併浄化槽区域（個別処理）にすることでコスト縮減が図られた。	自主性・裁量性 ③
下水道として計画していた一部の箇所について、地域再生計画のなかで見直しを実施し、費用対効果の観点から浄化槽へ変更した。このことにより、350百万円のコスト縮減となり、効率的な整備が図られた。	
交付金充当率を調整することにより、単独費による追加工事が不要になる等、事業期間内における長期的計画・弾力的な事業の実施が可能となった。	弾力的な執行 ④
予算の一部を他施設へ充当し、効率的な予算の執行が行えた。	
従来、各課で申請等の手続きを行うところ、他部局と一緒に事業を実施することにより、手続きが一本化され、申請等の各手続きにおいて簡素化がなされた。	事務の効率化 ⑤
課内で一つの事業を総合的に施工できた。	
年度内完了ができない場合、通常は繰越手続きが必要となるが、国費以上の執行がなされていれば、繰越手続きが不要となり、事務の簡素化が図られた。	
他部局と一緒に事業を行うことにより、横のつながりができ、整備について対象施設のみならず、広く考え整備構想を持つことができた。	その他 ⑥
港湾事業と漁港事業が連携し、事業進捗が図れたことにより、地元への普及（アピール）効果があった。	

【問5】 問2で「②なかった」を選択された場合、回答して下さい。

主な記述内容	分類
事業による担当部局が違うので、連絡調整が必要になり事務量が増えた。	事務手続き
公共下水道と浄化槽について、それぞれが独自に交付決定を受けて、それぞれで執行していたため事業間での弾力的な執行はできなかった。また、事務については、元々公共下水道事業と浄化槽整備が一つの課で実施していたため、事務的なメリットもなかった。	

【問6】 その他、地域再生基盤強化交付金に関するご意見、ご要望など何かありましたら、ご記入ください。

主な記述内容	分類
汚水処理施設の整備事業は、長期に及ぶことから制度的な長期的な支援と存続を要望します。	交付金の継続
地域再生基盤強化交付金については、地域に密着した課題や問題を解決することができる事業であると思います。特に、地方道（市道）の整備にはなくてはならない事業であると思います。是非、事業の継続をお願いいたします。	
単独事業についても一定範囲内で補助をしていただきたい。	実施要件の緩和
市道と農・林道がパッケージとして整備されなければ事業採択されないため、事業箇所を選定が困難。条件を、市道又は農・林道単独で実施できるよう、または市道又は農林道と国・県道とのパッケージなど、採択条件の拡充をお願いしたい。	
今回当市では、公共下水道及び浄化槽の施設を整備したが、同様の整備が同じ補助割合で別の補助事業で活用が出来る。複数の施設整備を同時に整備するのだから、補助率等のメリットがあればより活用しやすくなる。	補助率の嵩上げ
複数の施設の整備を行い事業を進めているため、県との連絡や関係調査について、関係部署からそれぞれ同様の調査や連絡などがあり、調査の回答や、事務の対応に対し、事務効率が悪かった。	事務負担